

志す宇宙は無限10月号

発行：楠井高等学校 宇宙部

宇宙甲子園 ロケット部門に向けた意気込み

宇宙甲子園 ロケット部門 (EPICLON CUP 2025) が肝付町立内之浦総合グラウンドで11月1日に開催される。宇宙部は大会に向けて本格的に活動を進めている。大会に向けての部員それぞれの意気込みは次のとおりだ。

部長 末利 仁

初出場初優勝を目指し、大会までできることを精一杯やって、優勝を掴み取りたい。

副部長 佐久間 大輔

僕達にとって初めての挑戦だが、二年生には、来年は無いので悔いの残らないようにできることをやって大会に臨みたい。

奥村 洸紀

無限に広がる宇宙に身を寄せて、僕らはついにその実力を見せるときが来た。目指すは優勝一択。感じる優秀の快楽。

袴田 晏慈

全員で上位大会に参加できるよう頑張る。

田尾 和晴

可能な限り貢献できればと思っている。もちろん、全員で全国大会（福島県南相馬市で開催予定）に出場し、その上の世界大会（イギリス・ファンボロで開催予定）に向けて出場できるように、頑張っていきたい。

新城 孝紀

モデルロケット大会の経験はあるが、本大会はワンステップ上のエッグリフト（うずらの卵を載せたロケットの高度・滞空時間を競う）大会である。今回の経験を通して、これからの部活動に貢献できるよう学びを深めたい。

井上 鷹彦

エッグリフトの機体を製作するのは初めてだが、目標高度（76m）と目標飛行時間（16〜18秒）に合う機体を作製できるよう頑張りたい。また、大会前までに余裕を持って機体を製作し終えるように頑張りたい。

北海道宇宙サミットに向けて

10月8日から10日まで開催される「北海道宇宙サミット」に部員の二人が参加する。

初日は民間宇宙企業の聖地とも言われる「北海道スペースポート」を見学する。南の鹿児島と北の北海道という正反対の地域において、国主導ではなく、民間主導で進められている宇宙産業の現場に触れられることは、とても貴重な経験となると思う。

翌日は、海外宇宙港関係者との交流会がある。この場で、楠隼の宇宙学や宇宙部の取り組みを英語でプレゼンする。



英語プレゼン資料

三日目は、「高校生が語る宇宙産業の学びと発見」というテーマのもとトークセッションがあり、プレゼンを行う。北海道大樹高校や和歌山県立串本古座高校、大分県立国東高校など、宇宙について取り組みを行っている高校との交流会もある。今後、これらの学校とも一緒に活動を行えたらいいなと思う。

宇宙からのささやき

宇宙を知ること、
自分自身を知ることだ。

カール・ウィーナー (Carl Weiner)

哲学と科学を結びつけた思想家。

ふと空を見上げたとき、群青の宇宙に広がっている宇宙は自分を映す鏡だと思った。

(おくむら)

身近な宇宙

世界宇宙週間はじまる

毎年10月4日から10日までの一週間は、国連が定めた「世界宇宙週間」である。

1957年10月4日、ソ連が人類初の人工衛星「スプートニク1号」を打ち上げたことを起点に、宇宙時代が幕を開けた。

この歴史的な出来事を記念し、宇宙探査の意義や平和利用の重要性を世界に広めることを目的に制定された。

期間中は、各国で宇宙に関連する多彩な催しが行われる。講演会や展示会のほか、子ども向けのワークショップや体験イベントが企画され、幅広い世代に宇宙の魅力を伝えている。特に教育機関や科学館では、この週間に合わせて特別展示を行うことが多く、次世代に向けて宇宙科学技術の意義を伝える役割を担っている。

日本でも同様に、JAXAをはじめとする研究機関が一般公開を実施している。例えば宮城県のJAXA角田宇宙センターでは、ロケットエンジンの試験設備や研究の現場を公開し、来場者は宇宙開発の最前線を間近に見ることが出来る。

世界宇宙週間は、過去の偉業を振り返るだけでなく、今後の宇宙探査や国際協力のあり方を考える機会でもある。

10月の空を見上げながら、少しでも宇宙について考えてみよう。未来を担う私たち一人ひとりが、夢や挑戦を抱くきっかけになるかもしれない。

宇宙の声

皆さんこんにちは。井上鷹彦です。

大会に向けて頑張るぞと活動し始めてすぐに、骨折して入院してしまい、残念ながら一ヶ月ほど部活に参加できていません。話す内容も特にないので、入院生活について紹介しようと思います。

まず一つ目、病院食について。朝食は白ごはんかパンが食べられます。さらに、朝食は必ずゼリーやプリン、フルーツなどのデザートが必ず出ます。朝食以外にもたまに夕食や昼食でもデザートが出ます。寮よりも高頻度でデザートが食べられるのは嬉しいところです。

次に二つ目は生活リズムについて。朝は寮と同じく大体6時30分くらいに朝の健康チェック的なのが行われます。朝食は8時10分くらいから始まるので、それまでベッドの上で空腹になりながらひたすら待ちます。昼食はちょうど12時から始まります。夕食は18時からで夕食だけは寮と同じ時間帯にあります。また、一日にリハビリが二〜三回あり、午前と午後に分けて60分ずつ行います。

何もない時間はベッドの上で何かしらして過ごしますが、段々とやる事がなくなると暇になり、することがないことに対する寂しさを感じ始めます。もちろん、勉強はします。オンラインで授業も受けています。もし誰かが入院するなら、飽きることなく、没頭できる、時間を忘れさせてくれる道具を持つていくことをお勧めします。

以上、入院生活の紹介でした。ありがとうございました。



高1の
新城が撮った
9月の
月食の様子